

事務連絡  
令和7年6月12日

協会長各位

一般社団法人  
全国ハイヤー・タクシー連合会  
理事長 神谷俊広

### 夏季における運転者の体調管理の徹底について

運転者の健康管理については、従来から「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」等に基づき実施するとともに、過労の未然防止と疾病の早期治療、乗務前点呼時や運行中の予兆把握など、健康に起因した事故の未然防止については、万全を期していただいているところです。

運転者の熱中症等が懸念される夏季を迎えるにあたり、今般、国土交通省物流・自動車局安全政策課長より別添のとおり運転者の体調管理に万全を期すよう要請がありました。

つきましては、了知されるとともに改めて傘下会員に対し、運転者の健康管理を適切に実施するよう周知徹底をお願いいたします。

事務連絡  
令和7年6月11日

公益社団法人日本バス協会理事長 殿  
一般社団法人公営交通事業協会事務局長 殿  
一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会理事長 殿  
一般社団法人全国個人タクシー協会理事長 殿  
公益社団法人全日本トラック協会理事長 殿

国土交通省  
物流・自動車局安全政策課長

### 夏季における運転者の体調管理の徹底について（要請）

平素より国土交通行政に対するご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、既に気温の高い時期を迎えております中、熱中症を予防するなど運転者の体調管理に万全を期すことにより、輸送の安全を確保することが重要です。

このため、貴会におかれましては、傘下会員に対し、特に下記の点に留意し、運転者の体調管理を徹底するよう周知方お願いいたします。

### 記

1. 始業点呼時に運転者の健康状態を確実に把握するとともに、運転者に対して、運行中に体調の異変を感じた時に、無理に運行を続けると非常に危険であることを理解させ、運行中に体調の異常を少しでも感じた場合、速やかに営業所に連絡する等の指導を徹底すること。
2. 脱帽をはじめとする一層のクールビズの取組を進めるとともに、こまめな水分・塩分補給を指導する等、運転者が乗務しやすい環境を確保すること。

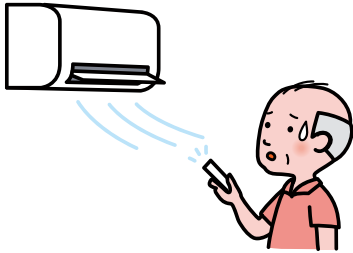
（参考）「熱中症の予防についてのリーフレット」（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu\\_taisaku/pdf/necchushoyobou/necchushoyobou.pdf](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/pdf/necchushoyobou/necchushoyobou.pdf)

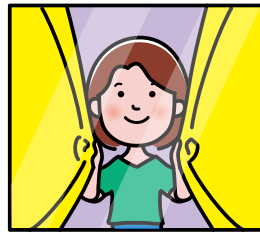
# 熱中症予防のために

## 暑さを避ける！

エアコン等で  
温度をこまめに調節



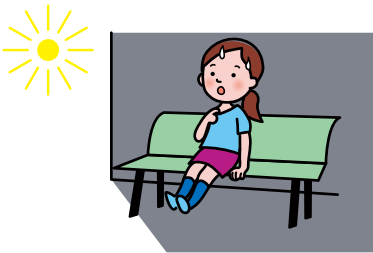
遮光カーテン・すだれの  
利用、打ち水の実施



外出時には日傘の使用、  
帽子の着用



天気のよい日は  
日陰の利用、こまめな休憩



吸湿性・速乾性のある  
通気性のよい衣服を着用



保冷剤、氷、冷たいタオル  
などで、からだを冷やす



『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

## こまめに水分を補給する！

室内でも、外出時でも、  
のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分を補給



熱中症  
とは

「熱中症」は、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でも何もしないときでも発症し、場合によっては死亡することもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症予防のための  
情報・資料サイト

厚労省 熱中症予防



スマートフォンでも見られます



[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu\\_taisaku/](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/)

## 熱中症の症状

- めまい
- 立ちくらみ
- 生あくび



- 大量の発汗
- 筋肉痛
- 筋肉のこむら返り

病状がすすむと

- 頭痛
- 嘔吐
- 倦怠感



- 判断力低下
- 集中力低下
- 虚脱感

応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

## 熱中症が疑われる人を見かけたら（主な応急処置）

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難



衣服をゆるめ、からだを冷やす（首の周り、脇の下、脚の付け根など）



経口補水液を補給※



※経口補水液を一時に大量に飲むと、ナトリウムの過剰摂取になる可能性もあります。腎臓、心臓等の疾患の治療中で、医師に水分の摂取について指示されている場合は、指示に従ってください。

自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、ためらわずに救急車を呼びましょう!

### 暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。

### 室内でも熱中症予防!

暑さを感じなくても室温や外気温を確認し、エアコン等を使って温度調節するよう心がけましょう。

### 高齢者や子ども、障害のある方は、特に注意が必要!

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調節機能も低下しているので、注意が必要です。子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。

また、障害のある方には、体温調節が難しい場合や、のどが渇いても気づかない、自分で水分がとれない等の場合がありますので、介助者やまわりの方は注意しましょう。